

[成果情報名]多収でいもち病に強い早期栽培向け焼酎麴用米新品種候補「宮崎 52 号」

[要約]「宮崎 52 号」は、“かなり早”に属する粳種で、早期栽培向けの焼酎麴用米新品種候補である。収量は試験地では「夏の笑み」よりやや少ないが、「コシヒカリ」より明らかに多い。いもち病に強い。

[キーワード]イネ、焼酎麴用米、早期栽培、多収、いもち病

[担当]宮崎県総合農業試験場作物部

[代表連絡先]電話 0985-73-2126

[分類]普及成果情報

[背景・ねらい]

焼酎麴用米は、食品の安全・安心志向の高まり等から国産米への転換が進むなど、需要が高まっているが、価格が低いため、多収で低コスト生産できる品種が求められている。普通期栽培では専用品種「み系 358」が育成・作付されているが、早期栽培では専用品種がなく、多収で耐病性・耐倒伏性のある品種が強く求められている。

そこで、耐倒伏性が強く多収で、いもち病に強い早期栽培向け焼酎麴用米専用品種を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 「宮崎 52 号」は、2008 年に、多収で耐倒伏性の強い「おてんとそだち」を母、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 *Pi39* を持ち、いもち病に極強の「東北 195 号」を父として人工交配を行った組合せに由来する。
2. 出穂期は「夏の笑み」より 4 日早く、「コシヒカリ」より 2 日遅い。成熟期は「夏の笑み」より 6 日早く、「コシヒカリ」より 3 日遅い（表 1）。
3. 「夏の笑み」と比べ稈長は同程度で、穂長はやや長い。穂数はやや少なく、草型は“偏穂数型”である（表 1、図 1）。
4. 耐倒伏性は「夏の笑み」と同程度の“強”である（表 1）。
5. 穂発芽性は「夏の笑み」よりやや劣る“易”である。脱粒性は同程度の“難”である（表 1）。
6. 精玄米重は、「夏の笑み」よりやや少ないが「コシヒカリ」より明らかに多い。現地ほ場では「夏の笑み」より多い。千粒重はやや重い、主食用品種との識別性は小さい（表 1、図 2、表 2）。
7. いもち病真性抵抗性遺伝子 *Pia* と *Pii*、いもち病ほ場抵抗性遺伝子 *Pi39* を持つと推定され、葉いもち及び穂いもちに強い。白葉枯病抵抗性は“中”、縞葉枯病には“罹病性”である（表 1、表 2）。
8. 外観品質は「夏の笑み」より優れる。玄米タンパク質含有率及び白米アミロース含有率は「コシヒカリ」と同程度（表 1、表 2）。
9. 焼酎麴用米としては、酵素力価が高い傾向にあり、吸水が遅いものの浸漬時間を延ばせば対応できる範囲であることから、適性は高いと考えられる（県内焼酎メーカー試験、データ略）。

[成果の活用面・留意点]

1. 普及対象：宮崎県内の早期水稻生産者
2. 普及地域・普及面積：宮崎県早期水稻作付地域、600ha(2021 年)
3. その他：耐倒伏性は“強”であるが、穂発芽性が“易”であるので、刈り遅れに注意する。

[具体的データ]

表1 「宮崎 52 号」の特性概要

系統名・品種名	宮崎 52 号	夏の笑み	コシヒカリ	
早晚生	かなり早	早	かなり早	
草 型	偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型	
出穂期(月・日)	6.22	6.26	6.20	
成熟期(月・日)	7.29	8.4	7.26	
稈 長 (cm)	60.7	61.9	77.8	
穂 長 (cm)	17.8	16.8	16.8	
穂 数 (本/m ²)	472	510	503	
耐倒伏性	強	強	やや強	
穂発芽性	易	やや易	難	
脱粒性	難	難	難	
耐病性	遺伝子型	<i>Pia, Pii, Pi39</i>	+	<i>Pii</i>
	葉いもち	強	中	弱
	穂いもち	強	やや弱	やや弱
	白葉枯病	中	弱	弱
	縞葉枯病	罹病性	罹病性	罹病性
精玄米重(kg/a)	62.0	65.8	56.2	
同上標準率(%)	94	100	85	
玄米千粒重(g)	22.1	21.5	21.0	
検査等級 ²⁾	3.7	4.7	4.3	
玄米外観品質 ³⁾	4.2	5.3	4.6	
玄米タンパク質含有率(%)	7.1	6.9	7.3	
白米アミロース含有率(%) ⁴⁾	16.7	16.4	16.8	

1) 2013～2017 年の平均値 2) 1(1 等上)～10(規格外)の 10 段階評価
 3) 1(上上)～9(下下)の 9 段階評価 4) 2013、2015、2017 年の 3 カ年の平均値



図 1 草姿 (左:宮崎 52 号、中:夏の笑み、右:コシヒカリ)



図 2 粃及び玄米 (左:宮崎 52 号、中:夏の笑み、右:コシヒカリ)
 (宮崎県総合農業試験場作物部)

表2 奨励品種決定調査 現地試験結果

系統 品種	年	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	葉い もち	穂い もち	精玄米重 (kg/a)	同左標準率 (%)	玄米千粒重 (g)	検査 等級
宮崎 52号	2017	6.29	8.2	61.9	17.7	549	0.0 ²⁾	0.0 ²⁾	66.0	108	21.4	1.0
	2018	6.23	7.31	59.1	17.8	484	0.0	0.0	58.3	114	21.9	1.3
	平均	6.26	8.1	60.5	17.7	517	0.0	0.0	62.1	111	21.6	1.1
夏の 笑み	2017	7.3	8.5	65.7	16.3	553	1.3	1.3	60.9	100	21.2	1.5
	2018	6.28	8.6	60.8	16.5	506	0.5	0.5	51.0	100	21.4	1.5
	平均	7.1	8.5	63.3	16.4	529	0.9	0.9	56.0	100	21.3	1.5

1) 宮崎県内 4 ほ場 (国富町、串間市、新富町、日向市) の平均値
 2) 葉いもち及び穂いもちは無 (0) ～甚 (5) の 6 段階

[その他]

研究課題名：多様なニーズに対応する特色ある水稻新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：2008～2017 年度

品種登録出願の番号：33618 号

研究担当者：藪押睦幸、森山あゆみ、押川純二、松浦聡司、永吉嘉文、三枝大樹、赤木武、
 加治佐光洋

発表論文等：なし